

鳥取市人権啓発企業連絡会 人権啓発ビデオ

背番号	ビデオタイトル	人権課題の分類	時間	制作年	備考	内容
No.62	企業の緊急課題であるパワハラ、セクハラへの対応	職場 の人権問題	68分 65分	平成21 (2009)年		男女雇用機会均等法ではセクハラ相談窓口の設置が事業主に義務付けられています。経済状況が厳しくなる中、相談窓口の存在は重要性を増し、相談員に求められるものもより複雑になってきました。セクハラはもとよりパワハラなど、ハラスメント全般への対応が求められます。最近のハラスメントの事例や判例をもとに、相談現場における適切な対処法をロールプレイなどの手法を用いて学びます。
No.63	相談員に求められるメンタルヘルスの知識と相談対応	職場 の人権問題	70分 63分	平成22 (2010)年		2009年度の「心の病」での労災請求数は1,136人と過去最多となり、職場のメンタルヘルスが大きな社会問題となっています。メンタルヘルス不調を訴える相談者も多く、相談員にはメンタルヘルスの知識も求められます。最新の判例・事例を用いてハラスメントをめぐる状況を解説し、組織としてのハラスメント対策における相談窓口担当者の役割と実際の対処法を学びます。
No.64	適切な相談対応から防止対策まで	職場 の人権問題	70分 58分	平成23 (2011)年		事業所でのハラスメントの解決には、相談窓口の整備に加えて行為者に対するヒアリング等迅速で適切な対応が求められます。相談の適切な受け方やメンタルヘルス、最新の事例・判例、行為者へのヒアリングやガイドライン作成等について、パワーポイントの資料も挿入して丁寧に解説しています。ハラスメント防止対策について相談員として、また、人事担当者としての役割と実際の対処法を学びます。
No.65	それぞれの立場 それぞれのきもち ～職場のダイバーシティと人権～	職場 の人権問題	32分	平成23 (2011)年	字幕 ちらし 解説書	一連のドラマの中で、日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げます。年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って、問題解決のヒントを示していきます。 また、ダイバーシティを理解するヒントとなる「ユニバーサルデザイン」にも触れ、ダイバーシティの理念を分かりやすく学べる内容となっています。
No.66	パワハラと熱血指導	職場 の人権問題	23分	平成23 (2011)年		この教材では、“熱血指導”部長、部長と見解の異なる主任、その間で奮闘する課長の三者をドラマで描き、パワハラにならない指導のあり方を考えます。
No.67	パワハラ解決技法	職場の 人権問題	25分	平成23 (2011)年		職場を蝕むパワハラには迅速な対応が欠かせません。この教材ではパワハラタイプ別の解決技法を、ドラマと解説によって分かりやすく展開します。
No.68	本当の出会いのために ～エントリーから始まる公正採用選考～	職場の 人権問題	27分	平成23 (2011)年	ちらし	企業の採用先行におけるエントリーから筆記試験、面接といった一連の流れの中で、いかにして受験者の基本的人権を守り、企業にとっても受験者にとっても望ましい採用選考のあり方が実現できるかを、ドラマスタイルで提起しています。

鳥取市人権啓発企業連絡会 人権啓発ビデオ

背番号	ビデオタイトル	人権課題の分類	時間	制作年	備考	内容
No.69	誰でも どこでも ～男女平等をめざして～	男女共同参画 に関する人権問題	40分	平成18 (2006)年		働く場におけるセクハラ、家庭でのドメスティック・ハイオレンス(DV)といった女性に対する人権侵害もあとをたちません。このビデオでは、女性たちの声に耳を傾け、均等待遇、女性の人権を確立する活動をとりあげ、男女平等に向けた可能性を考えます。
No.70	フェアな会社で働きたい	職場の 人権問題	25分	平成27 (2015)年	字幕 副音声 ちらし	企業がさまざまなステークホルダーの人権を尊重することは、現代の企業にとって必須の事であり、またそのための社員教育も重要になってきます。しかし、社員が人権啓発について具体的に自分のこととして捉えるのは難しいことでもあります。このDVDでは、人事部の新入社員の体験をドラマにして公正な採用選考をはじめとする企業における人権のあり方について学ぶ教材として制作しました。
No.71	私らしくあなたらしく～多様な性を生きる～	職場の 人権問題	38分	平成30 (2018)年	字幕	多様な性が存在することに対する無知や無関心によって生じる差別や偏見。それが根強く残る今の社会で、性的マイノリティの人にとって、本当の自分をカミングアウトすることは容易ではありません。このビデオでは、悩みながら自分らしく生きようとする性的マイノリティの人たちの姿を通して、多様な性が共に生きる社会はどうあるべきかを考えていきます。
No.72	許すな「えせ同和行為」～あなたの会社を不当な要求から守ろう	職場の 人権問題	36分	令和2 (2020)年	字幕 副音声 ちらし 手引き	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。えせ同和行為は、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となっており、同和問題の解決を阻害するものです。本DVDでは、えせ同和行為をはじめとする不当要求行為の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介しています。